

グリーンアジア国際戦略総合特区で取り組む事業

1 「アジア低炭素化センター」によるパッケージを中心とした環境ビジネスのアジア展開

「アジア低炭素化センター」を核に官民が連携し、相手のニーズに応じて、都市環境インフラに係る技術やノウハウ等を組み合わせ、商品化する(パッケージ化)

北九州市の

- エコタウン (リサイクルビジネス)
- 上下水処理技術 (水ビジネス)
- スマートコミュニティ (エネルギービジネス)
- 公害防止技術 (CP) (環境負荷低減ビジネス)

など

グリーンシティ (環境配慮型都市)のプロデュース

◎アジア低炭素化センター

- 技術等のパッケージ化
- ニーズに応える技術等の改良
- 市場性の調査
- 実証実験のサポート
- ビジネスミッションの派遣
- 海外事務所によるビジネス支援

など

◎先進的な取組事例

水ビジネス

■技術協力の経験とノウハウ

【専門家派遣】13カ国・184名 [平成27年度末現在]

【研修員受入】146カ国以上・約4,924名

漏水率が72%から8%へ改善(カンボジアでの実績)

■官民による推進母体
(北九州市海外水ビジネス推進協議会)

会員企業の分類

- 建設コンサルタント
- 土木建設
- プラント建設
- 電機、計装システム等
- 金融、商社等
- その他

北九州市 中央政府 民間企業 学識者(大学教授) 関係機関(JICA, JBIC等)

■国際戦略拠点を活かしたマーケティング・セールス

北九州市の基幹下水処理場である日明浄化センターを水処理等に関する人材育成・研究開発・情報発信の拠点として活用し、会員企業の海外水ビジネスを支援

スマートコミュニティ

北九州市東田地区

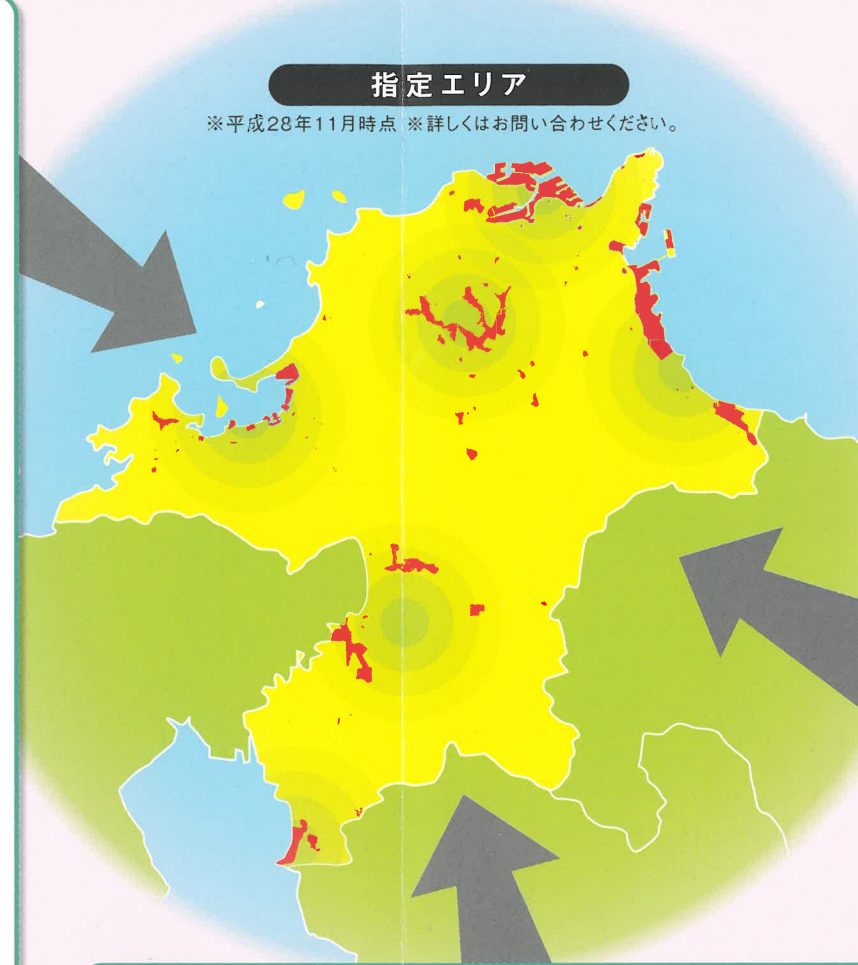
■スマートコミュニティの仕組み

※北九州市・東田地区

スマートメータ 東田コージェネ(天然ガス発電所) 大規模蓄電池 送電線網

スマートビル 地域節電所 インターネット 太陽光発電

スマートマンション



2 グリーンイノベーションを主導する産業拠点の形成

環境性能が高い製品を開発・生産し、アジアから世界へ展開する

<p>パワー半導体</p>	<p>環境対応車</p>	<p>次世代有機EL</p>
<p>産業用ロボット</p>	<p>風力発電装置</p>	<p>次世代燃料電池</p>

環境対応車(EV、HV、低熱費自動車やその関連部品)
省エネ機器(パワー半導体、インバーターなど電力損失を低減させる製品やその関連部品)など

3 資源リサイクル等に関する次世代拠点の形成と展開

レアメタル等の新しいリサイクル分野での技術や社会システム等を確立し、拠点化する

国内・アジアからの広域収集体制を確立



4 アジアとのネットワークを活用したシームレスなビジネス環境の実現

アジアとのネットワークを活用し、ヒト・モノ・カネの往来を活発化させ、環境ビジネスを中心にアジアの活力を取り込む

国境を感じさせないグリーン物流を実現

- ◎アジアとの近接性を活かした、低コスト・スピーディで環境に優しい物流サービス
- ◎鉄道とも近接する国際・国内一体のRORO船ターミナルを整備
- ◎アジアダイレクト航路が充実し、北米航路も就航するコンテナターミナル



企業進出・技術交流を加速

- ◎アジア展開への支援
- ◎経営者交流を推進
- ◎中小企業の育成・起業支援



グリーンアジア国際戦略総合特区で取り組む事業(国・地域独自の支援メニューを受けられる事業)の詳細については、裏面のお問い合わせ先までご連絡ください。